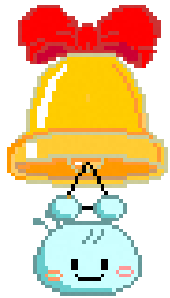


柏崎市青少年健全育成市民会議

テーマ:「ネット被害 守れ子ども」
～ウェルビーイングな家庭をめざして
メディア会議を始めよう～



シンボルマーク
親子鷹



輝け子どもたち！ 今、大人にできること



©二馬力



柏崎市青少年健全育成市民会議

柏崎市の概要（2025年4月現在）

- ・人口：約75,000人
- ・世帯数：約35,000世帯
- ・小学校：19校、中学校：11校
翔洋中等教育学校：1校
高等学校：5校、大学：2校
- ・世界一の原子力発電所設置
- ・2007年7月16日の、中越沖地震により、甚大な被害



ぎおん柏崎まつり



世田谷区

西山町草生水祭り



綾子舞



高柳町狐の夜祭り

市民会議の歴史

県からの要請

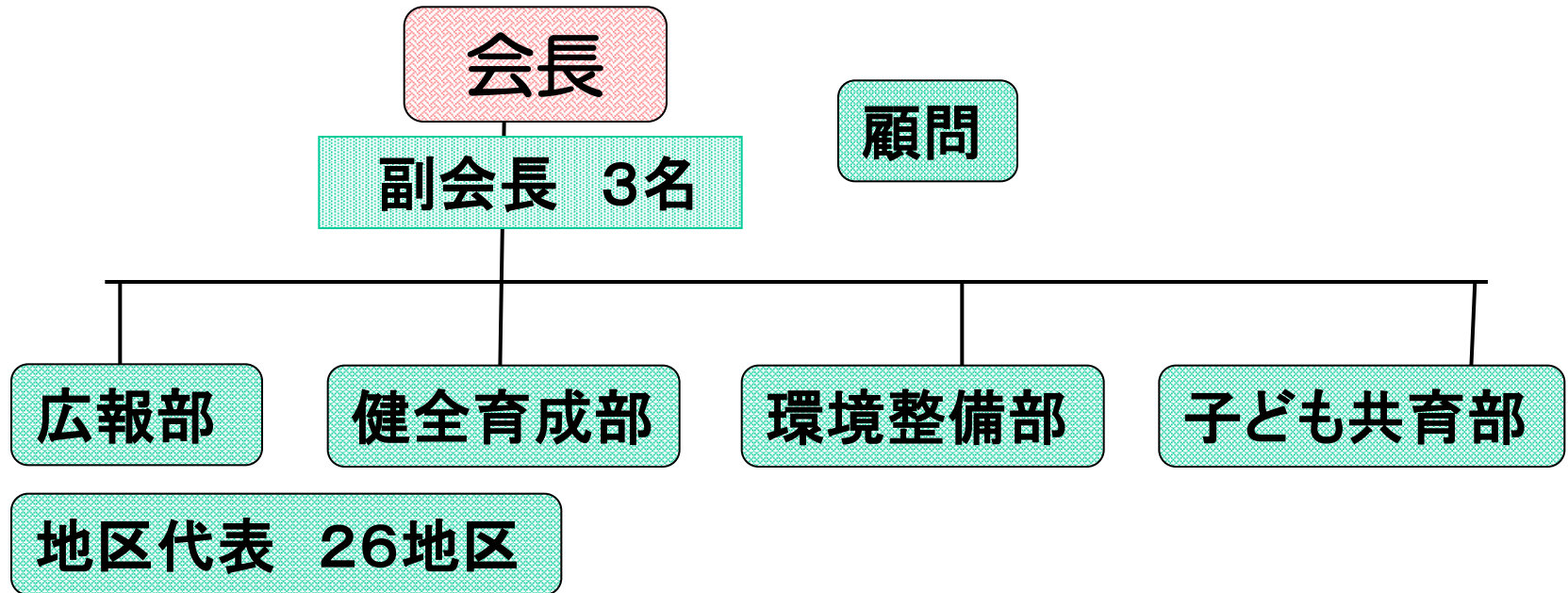
校内暴力・家庭内暴力
新しい問題行動

柏崎市青少年育成センター

市民の側から盛り上がる力

発 足 昭和55（1980年）年7月
会員数 104名で活動開始

現在の市民会議



運営費 会費 個人会員 年額 1,000円 24年度・161名
賛助会員 一口 5,000円 24年度・20口
(企業会員が主体)

大人が変われば
子どもも変わる



柏崎市青少年健全育成市民会議シンボルマーク

親子鷹

市民会議の主な活動

- トライウォーク & 子どもフェスタ
- 青少年健全育成大集会
- 子どもとメディアを考える会
- マナーアップ月間活動（合言葉→大人
が変われば、子どもも変わる）
- 地区活動
- 専門部活動

トライウォーク & 子どもフェスタ



トライウォーク&子どもフェスタ

- 目的**
- 青少年に感動と友情の体験
 - 大自然にふれ、友と語り合う

キャッチフレーズ

- * 感動体験、でっかく歩こう友情体験

平成3年9月22日第一回海岸36キロ・トライウォーク



平成19年(2007年)の中越沖地震により、海岸線の破壊箇所があり、当年は中止として、次年度より、柏崎市の名所旧跡などをコースとして企画した。



本年度は、高柳地区の「きつねの嫁入りコース」で実施

青少年健全育成大集会

☆平成15年度(2003年)より、開催。

◆開催の目的

・青少年健全育成に対する市民の理解を深め、地域ぐるみでの健全育成活動を充実・促進させることを目的に「**大人が変われば、子どもも変わる**」を合言葉に開催。

・健全育成の目的や活動を市民が認識することにより、地域での連携が生まれ活動が活性化されるため、小・中・高PTA連合会、市子ども会連合会、保護司会、青少年育成刈羽村民会議等と幅広い共催で開催。

青少年健全育成大集会

第一回 平成15年度（2003年）

尾木 直樹 様 「子どもの心と子育て」

第二回 平成16年度（2004年）

- ・第二回青少年健全育成大集会が、「子どもとメディア」の取り組みの出発であり、活動の主体となる。

[理由]

- ・家庭からの声---外で遊ばない。テレビ・ゲームに夢中。
- ・国民会議の総会でも、「テレビ・ゲーム漬け、メディア漬け」の改善をアピール。
その、総会後の講演会も、メディア漬け対応の講師。
- ・当時の新潟県民会議 佐藤会長も会議や地域集会等で、「子どもとメディア」の取り組みがこれからの課題となる。「メディア対応」に努めます。と・・・

青少年健全育成大集会

第二回青少年健全育成大集会の風景 No.1

通路まで、埋め尽くした
会場 ↓



↑ 恩田医師の
基調講演

青少年健全育成大集会

第二回青少年健全育成大集会の風景 No.2

恩田様
基調講演 ↓



コーディネーター
駒形様 ↓



シンポジストでも
恩田様 ⇒



↑ シンポジスト
村井様



↑ シンポジスト
井部様

シンポジスト ↑
増田様

青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」№1

平成16年度(第2回)

■ シンポジウム ☆テーマ:「テレビ・テレビゲームがなぜ
子どもに悪影響を及ぼすのか」

- ・基調講演:刈羽郡総合病院心身医療科 恩田 晃 部長様
- ・コーディネーター:テレビ新潟事業局次長 駒形 正明 様
- ・シンポジスト:村井こどもクリニック院長 村井 力四郎 様
柏崎擁護学校擁護教諭 井部 茂子 様
小中学校PTA連合会副会長 増田 昌子 様

平成17年度(第3回) 講演会:「人間になれない子どもたち」

講師:清川 輝基 様 (NHK放送文化研究所研究主幹)

平成18年度(第4回) 講演会:「ノーメディア」実践するところ
変わる!

講師:原 陽一郎 様 (九州大谷短期大学幼児教育講師)

青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」№2

平成19年度(第5回) 講演会:メディアによる影響

～子どもの生活リズムと脳への影響～

講師: 神山 潤 様 (東京北社会保険病院副院長)

平成20年度(第6回) 講演会: 携帯電話のメディア特性と

子育て教育～学校と親の役割～

講師: 下田 博次 様 (NPO青少年メディア研究所理事長)

平成21年度(第7回) 講演会: 深刻化するネットいじめ

その現状と大人の役割

講師: 渡辺 真由子 様 (メディアジャーナリスト)

平成24年度(第10回) 講演会: 「デジタル社会を賢く健やかに

歩む子どもを育てよう

～見守る側が知っておきたいケイタイ&スマートフォンのこと～」

講師: 尾花 紀子 様 (ネット教育アナリスト)

青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」 №3

平成25年度(第11回) 講演会: 「子どもを取り巻く 新しいネット環境を考える」

講師: 飯塚 秀伯 様 (ぐんま子どもセーフネット活動委員会委員長)

平成26年度(第12回) 講演会: 「メディア漬けで壊れる子どもたち～スマホ社会の落とし穴～」

講師: 清川 輝基 様 (NPO法人子どもとメディア代表理事)

平成27年度(第13回) シンポジウム

事例発表 ののいちっ子を育てる市民会議

埼玉県立蓮田松高等学校

柏崎市立松浜中学校区

コーディネーター 長 聡子

アドバイザー 山田 智

青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」 №4

- 平成28年度(第14回) メディア教育授業:「楽しく学ぼう
『生き方』としてのメディア教育」
講師(アドバイザー):石野 正彦 様(上越教育大学)
進行:古川 勝哉 様(教育センター副所長)
保護者代弁者:若井 克枝 様 吉野 一城 様
子どもの代弁者:中学生 2名、他中学生6名
- 平成29年度(第15回) グループ討議:「これでよいのか
『大人のメディア共同宣言』」~その後の取組と課題~
コーディネーター 古川 勝哉 様(教育センター副所長)
- 平成30年度(第16回) パネルディスカッション:
「ネットを正しく使いこなすために」
基調講演: 一戸 信哉 様 (敬和学園大学教授)

コーディネーター：一戸 信哉 様 敬和学園大学教授
バネラー：黒崎ゆかり 様 柏崎ジョイフルキッズ代表
宮川 昂大 様 新潟工科大学 学生
臼井 亮子様 柏崎市小中学校PTA連合会副会長

青少年健全育成大集会

ネットを正しく使いこなすために

～ 子どもたちの安全を守るため いま、身につけたい ネット・リテラシー ～

基調講演

「青少年とメディアを
敬和学園大学教授 一戸 信哉」



大人が**変われば**

子どもも**変わる**



柏崎市青少年健全育成市民会議シンボルマーク

親 子 鷹

青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」 №5

令和3年度(第19回) 実践研修:テーマ「子どもたちのこれから
を見据えいま必要なICT教育を学びましょう」

指導: 柏崎市教育委員会 千原 美幸 様
刈羽村教育委員会 木嶋 達平 様

令和4年度(第20回) 実践研修:テーマ「スマホやゲーム機器
に関するトラブル、持たせた親の責任？」
～子どもへの具体的な対応を考えよう～

* 出演

- ・青木 新一様 南魚沼市立大和中学校長
- ・関矢 聡史様 関矢法律事務所 弁護士
- ・青山 眞弓様 ICT教育支援員

他、中学生2名 教育関係者

(進行:宮沢哲也 様 柏崎市小中学校PTA連合会会長)

青少年健全育成大集会

第20回大集会：「スマホやゲーム機器に関するトラブル、持たせた親の責任？」…と、弁護士を交えての実践研修。中学生もメディア使用に係わる困り感も出しながら奮闘（R4.11.19）



青少年健全育成大集会

メディアに関する内容で開催した

「青少年健全育成大集会」 №6

令和6年度(第22回) 実践研修

テーマ 「ウェルビーイングな家庭をめざして」

～メディア会議を始めよう～

出演: 第五中学校の家族(親と中学生)

中学生2名

講師: 藤田 優子 様 (新潟県警察本部生活安全部少年課
長岡少年サポートセンター長)

青少年健全育成大集会

第22回大集会・メディア会議の
モデル家族の様子・親と中学生
(令和6年11月23日)



中学生メディア共同宣言

柏崎・刈羽地区 中学生メディア共同宣言

- ① 生活を設計、行動していくために... → 目的
メディア機器は親から借りているものという意識をもち、 → 考え方
「自分をコントロールして、けじめのある」生活をします。 → 行動
- ② 学習の時間や質を確保するために...
自分だけでなく友達学習時間や質も大切にし、
「メディアと学習、それぞれの時間と場所を分け優先順位を考えた」生活を
します。
- ③ 友達との望ましい関係を築くために...
悪口を書いたり見逃したりすることのない関係をめざし、
「メディア機器の有無にかかわらず、直接顔を見て話す機会」を増やします。

平成28年1月 新潟県柏崎・刈羽地区の中学生一同

大人のメディア宣言

大人メディア宣言

私たちは子どもたちを加害者にも被害者にもさせないために
メディア機器の貸与者として、以下のような責任ある行動をします。

- 一、メディア機器の利用マナーを守り、利便性と危険性についても勉強します。
- 一、メディア機器の利用についての家庭内ルールを作ります。
- 一、適切なフィルタリングサービスを設定します。
- 一、他の家族・子どもたちの生活・健康・学習等を守るため、メディア機器による夜間の発信は自粛します。

令和6年11月 子どもとメディアを考える会

柏崎市小中学校PTA連合会 柏崎地区高等学校PTA連合会

柏崎市青少年健全育成市民会議 刈羽村青少年育成村民会議

柏崎市子ども会連合会

メディア共同宣言

1、中学生 ー作成経過ー

■平成27年2月21日 柏崎の教育を語る会の「子ども会議」で、

☆メディア機器の利用で、

- ・生活が乱れている
- ・学習時間が削られ集中できない
- ・仲間外れにされるかもしれない

**学校の垣根を越えて
みんなで取り組もう！**

■各学校内での検討会 ⇨ 各校代表役員が調整の繰り返しを数回

👏 中学生メディア共同宣言が完成

平成28年1月30日に、発表会決定！

柏崎・刈羽の約2,000人で作り上げた！！

👏 現在も内容を変更することなく、時には校区の小中学校と交流して、共同宣言の内容指導など、楽しく過ごしている

メディア共同宣言

2, 大人 ー作成経過ー

- 中学生が、メディア共同宣言に取り組んでいることを察知
子どもの宣言を支える目的で、大人(保護者)も立ち上がった
- メディア機器をあたえっぱなしでは、子どもの宣言を支えることはできない。**メディア機器貸与者としての責任果たそう**
- 青少年育成市民団体に広く呼びかけた。(特にPTA連合会)
- 完成は、平成27年12月

🔥 中学生メディア共同宣言の発表会(平成28年1月30日)に間に合ったので、中学生と同時に発表することとした。

※ 発表後10年間の活動経緯を経て、「**メディア機器の貸与者として、責任ある行動をすること**」を明確にするため序文を改正した (令和6年11月)

メディアに関するアンケート調査 ケータイ・スマホアンケート 調査

1、メディアに関するアンケート

私たちの出発点である、平成16年度開催のシンポジウム「子どもとメディア」に向けて実施。

対象は、小学2年生・5年生、中学2年生
平成16年9月調査

2、ケータイ・スマホアンケート

平成26年度から、隔年調査（H26、28、30、
R 2、4、6）

対象は、小学2年生・5年生、中学2年生、
高校2年生（高校生は、R4より）

3、アンケート調査の結果について

次の「まとめ」の項で若干触れます。

輝け子どもたち！

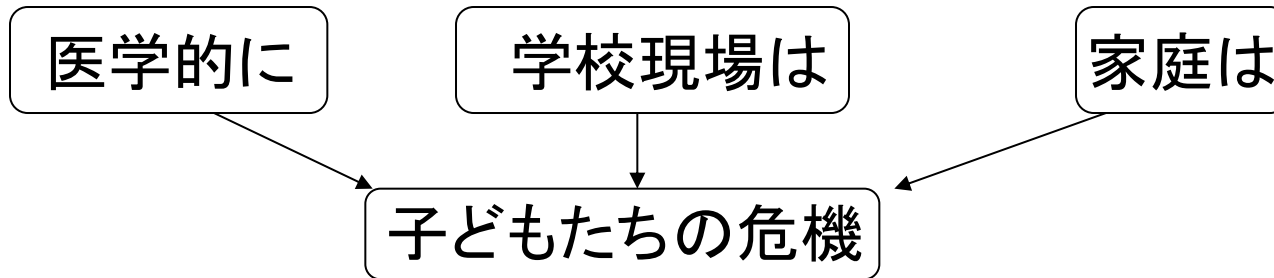


©二馬力



まとめ……現状認識と展望

- 平成15年度開催の「シンポジウム」で、予測可能に！！



- 現状と対策

- 私たちが 進んだ道 進む道

* 学習

- ・中央でメディアに関して、活躍の方々
- ・保護者中心に、地域への呼びかけ
- ・実践活動の必要性 ⇒ 学習と実践活動

* アンケート調査

・二年に一回アンケート調査

・携帯スマホの所有率

10年前 と比べ、小5で1.7倍の67%、中2は2.2倍
の70%、高2は、所有率94%

・機器の利用率

良くする、長くする ⇒どの校種でもネット

(You Tube SNS動画等)

・守られていないルール

保護者の認識も児童生徒も

突出して”使う時間”でした

* 「インターネット夢中度調査」

- ・「インターネットに夢中になっていると思いますか」の項

「思う」・・・70%前後(校種に関係なく)

- ・”動画投稿”や ”知らない人とのやりとり”の認識

高2・中2⇒20%強 小5は⇒10%程

- ・安心して利用できるように、次の 三つ を課題とした

- 1, 機器使用の低年齢化
- 2, 長時間使用とネット依存
- 3, ネット上のトラブル

*****サー!!お父さん！お母さん！ 出番ですよ。**

ウェルビーイングな家庭を目指し「メディア家族会議」を開きましょう！・・・(心も体も、家庭や仕事(学校)でも、生きがい感・やりがい感が将来にわたって持続するような幸せを感じる)

家族会議は、

- ①家族全員が**会話をすることで、コミュニケーション**が図られ、
心と心がつながり、幸せな状態になる
- ②**実態に即したルールを十分に話し合い、決めることが肝心**
- ③**ルールは一度決めたら終わりではなく、常に実態に合わせ見直していくことが大切**

*大切なこと

- ・スマホを始めネットに繋がる**機器は、保護者の貸与です貸与者としての責任**もしっかりと果たしましょう。

最後に

*「望ましい家族会議」

私たちは、「青少年健全育成大集会」実践研修をしたスマホを持たせた責任の果たしかたの一例

*「教育の原点は家庭にあり」

この基本を私たち大人が再認識して、
子どもの様子に目を配り、何かあったときに相談できる
家庭環境となるように、**コミュニケーションを大切にし、
ウェルビーイングな家庭をめざしましょう！！**

ご注聴ありがとうございます



柏崎市青少年健全育成市民会議シンボルマーク

親子鷹

